Racing Topics

★中央競馬ニュース　文・谷川善久★

●新人騎手が続々デビュー、柴田裕一郎騎手が初勝利第１号

ＪＲＡ競馬学校騎手課程を今年卒業した新人騎手７名が、３月２日(土)、各地で続々とデビューを飾りました。このうち柴田裕一郎騎手(栗東・中竹和也厩舎)は、２回小倉７日・第８レースでアリスヴェリテに騎乗して優勝、ＪＲＡ初勝利(３戦目)をあげています。また、調教助手から障害専門騎手に転身した坂口智康騎手(美浦・尾形和幸厩舎)も、３月３日(日)、２回小倉８日・第４レースでデビューしました。

●春の小倉競馬リーディングジョッキーは鮫島克駿騎手

３月３日(日)をもって春の小倉競馬が終了し、１回小倉・２回小倉で計17勝をあげた鮫島克駿騎手(栗東・フリー)が開催リーディングジョッキーとなりました。

●北沢伸也騎手が引退

３月５日(火)付で北沢伸也騎手(栗東・フリー／ＪＲＡ通算3204戦282勝)が引退しました。今後は栗東・藤野健太厩舎で調教助手となる予定です。

●調教師７名が引退、８名が新規開業

３月５日(火)付で、美浦では小桧山悟(ＪＲＡ通算7330戦218勝)、高橋裕(ＪＲＡ通算7067戦479勝)、中野栄治(ＪＲＡ通算6605戦292勝)、栗東では飯田雄三(ＪＲＡ通算4817戦320勝)、加用正(ＪＲＡ通算7548戦639勝)、松永昌博(ＪＲＡ通算4514戦370勝)、安田隆行(ＪＲＡ通算8345戦967勝)の各調教師が引退しました。これにともない、美浦では千葉直人、森一誠、矢嶋大樹、栗東では小椋研介、河嶋宏樹、高橋一哉、福永祐一、藤野健太、計８名の調教師が３月６日(水)付で新規開業しています。

●サンテミリオンが死亡

2010年優駿牝馬(オークス・ＧⅠ)をアパパネとの同着で制するなどＪＲＡ通算18戦４勝の成績を残し、現役引退後は北海道千歳市の社台ファームに繁殖牝馬として繋養されていたサンテミリオン(牝17歳)が、３月４日(月)、病気のため死亡しました。

★地方競馬ニュース　文・宇田川淳★

●セラフィックコールがダイオライト記念(船橋)を圧勝

ダイオライト記念(JpnⅡ、３月６日、船橋、2400㍍)は、離れた４番手から追い上げたセラフィックコール(バウルジャン・ムルザバエフ騎手＝ドイツ、牡４歳、父ヘニーヒューズ)が、途中から逃げたテリオスベルを残り150㍍で捉えて４馬身引き離し、１番人気に応えました。２番人気のハギノアレグリアスが３着、３番人気のディクテオンが４着と、４頭出走したＪＲＡ所属馬が上位を独占しています。

●兵庫ユースＣ(姫路)は高知のリケアサブル【各地の主要３歳重賞】

兵庫ユースＣ(２月22日、姫路、1400㍍)は、３番手から４コーナー手前で先頭に立った３番人気の高知からの遠征馬リケアサブル(牡、父ベストウォーリア)が２馬身半差で完勝。ユングフラウ賞(２月21日、浦和、1400㍍、牝馬)は、先手を取った５番人気のミチノアンジュ(父ドレフォン)が、単勝1.7倍で断然人気のスティールマジックに１馬身半差を付け、逃げ切り勝ちを収めました。

★海外競馬ニュース　文・秋山響★

●Ｇ１オーストラリアンギニー～サウスポートタイクーンが制す

現地３月２日にオーストラリア・ヴィクトリア州のフレミントン競馬場で行われたＧ１オーストラリアンギニー(３歳、芝1600㍍)は、16頭立ての５、６番手で流れに乗ったサウスポートタイクーン(牡３歳、父リトゥンタイクーン、C.マー厩舎)が直線で抜け出して1.25馬身差で優勝しました。サウスポートタイクーンは昨年８月のデビューから２連勝。その後は前走２月のＧ２オータムＳ２着まで重賞ばかり４戦して未勝利でしたが、今回は初騎乗となった女性騎手J.カーを背にＧ１タイトルを手にしました。

●Ｇ１サンタアニタＨ～ニューゲートが優勝

大量の雨予報のため１日延期となり、３月３日にアメリカ・カリフォルニア州のサンタアニタパーク競馬場で行われたＧ１サンタアニタＨ(４歳上、ダート2000㍍)はL.デットーリ騎手とのコンビで中団を進んだニューゲート(牡４歳、父イントゥミスチーフ、B.バファート厩舎)が2022年のアルゼンチン最優秀２歳牡馬スブサナドールをゴール前でかわして優勝しました。ニューゲートは昨年２月のＧ３ロバートB.ルイスＳ(ダート1700㍍)で重賞初制覇を果たしましたが、飛節を傷めて長期休養入り。今年１月６日の復帰戦と１月27日のＧ２サンパスカルＳでともに２着してここに臨んでいました。なお、デットーリ騎手は昨年12月末にアメリカに拠点を移して以降では初となるＧ１勝ちです。